

# 平成28年度 「社会的課題に対応するための 学校給食の活用」事業

本県では、文部科学省からの委託事業を受け、平成28年8月22日～平成29年2月28日まで、

●食品ロスの削減

●地産地消の推進

の2つの課題研究について、研究実施施設を国見町給食センターとし、学校給食を提供しながら研究を円滑に行うため国見町教育委員会へ事業を再委託して実施しました。

以下に、県教育委員会主催で開催しました、会議の内容について紹介します。なお、詳しい研究内容につきましては、再委託先である国見町教育委員会のホームページで紹介する予定です。

## 【社会的課題に対応するための学校給食の活用事業推進会議】

### 推進委員名簿

委員長	福島大学特任准教授	副委員長	国見町立国見小学校校長
委員	桜の聖母短期大学教授	委員	桜の聖母短期大学准教授
委員	国見町道の駅出荷組合長	委員	国見町道の駅出荷組合野菜部会長
委員	農業生産者	委員	国見町商工会給食センター納品組合長
委員	J Aふくしま未来伊達地区本部直販課長	委員	伊達果実農業協同組合購買部課長
委員	公益財団法人福島県学校給食会事務局長	委員	国見町幼小中PTA連絡協議会会長
委員	国見町立県北中学校校長	委員	国見町立くにみ幼稚園園長
委員	国見町立国見小学校養護教諭	委員	国見町立県北中学校養護教諭
委員	国見町立くにみ幼稚園養護教諭	計 17名	

### 事務局名簿

国見町教育長	国見町教育次長兼学校教育課長
国見町幼児教育課長	国見町まちづくり交流課長
国見町企画情報課長	国見町保健福祉課長
国見町産業振興課長	国見町まちづくり交流課道の駅準備室長
国見町給食センター所長	国見町給食センター栄養教諭
県教育庁県北教育事務所指導主事	県教育庁健康教育課主任栄養技師
計 12名	

第1回 平成28年9月20日（火）

場所 国見町観月台文化センター 大ホール

- 1 委嘱状交付
- 2 挨拶  
教育庁健康教育課長  
国見町教育長
- 3 委員自己紹介
- 4 社会的課題に対応するための学校給食の活用事業説明 教育庁健康教育課 主任栄養技師
- 5 講話「学校給食・地産地消の発展に向けた論点整理」

講師 福島大学経済経営学類 特任准教授 則藤孝志 委員

6 委員長・副委員長選出

7 協議

- (1) 国見町給食センターにおける事業実施計画について 国見町給食センター所長
- (2) 平成28年度社会的課題に対応するための学校給食の活用給食検討委員会の設置及び位置づけについて
- (3) 今後の日程・進め方について
- (4) 質疑応答及び意見交換

食品ロスの削減、地産地消の進め方について、それぞれの立場から意見の交換がなされました。

食品ロスの削減としては国見町産規格外農産物の利用を掲げたことから、

○国見町産規格外農産物の判断基準の作成

○給食センターへ納品されるシステムの構築

が事業推進の課題として挙げられました。

地産地消の推進については、学校給食の食材を地元で安定的に供給するための生産者・流通業者・給食センターのそれぞれの課題について意見が出されました。

委員の皆様からいただいた意見を参考に、今後の研究事業を進めていくこととなりました。



第2回 平成29年1月30日(月)

場所 国見町観月台文化センター 研修室

1 開会

2 挨拶

教育庁健康教育課長

国見町教育長

3 協議

- (1) 国見町給食センターにおける実践結果報告について 国見町給食センター所長
- (2) 今年度の成果と課題について 則藤委員長
- (3) 今後の予定について
- (4) 質疑応答及び意見交換

国見町給食センターで実施した研究事業について、学校での児童生徒の反応や、教科への広がりについて複数の委員から紹介がありました。また、H29年春に開設される道の駅との連携や、生産者とのさらなる関係づくりについて意見が出され、国見町の町づくりにおいて今後の検討につなげることとしました。

4 その他

本事業について取り上げた新聞記事の紹介 国見町教育次長兼学校教育課長

